

ROTARY OPENS OPPORTUNITIES

ロータリーは機会の扉を開く

2020～21 年度年度

国際ロータリー会長 Holger Knaack



東京麹町ロータリークラブ

本日の例会プログラム

第10例会 2020.9.28 (#2284) 会場: 舞の間

例会ホスト・紹介係 久保田君 会費係 秋山君

受付係 地引君 鈴木君

司会者 鄭君 ソングリーダー 吉田君

卓話「鉄道が経験した東日本大震災」

日本ホテル(株)代表取締役社長 里見 雅行氏

紹介者 若林会員

前回の報告

第9例会 2020.9.14 (#2283) 会場: 舞の間

例会ホスト・紹介係 佐藤君 会費係 乳井君

受付係 荒川君 飯嶋君

司会者 濱田君 ソングリーダー 吉田君

卓話「ワイン農場の経営」

(株)ルミエール代表取締役社長 木田 茂樹氏

紹介者 地引会員

会長報告

- 1) 本日は、勝沼でワイナリーを経営されていらっしゃる、木田様より、お話をうかがいます。
- 2) 米山奨学生の鄭君が出席です。
- 3) 来月5日は、ガバナー公式訪問日です。各委員長は、例会前にクラブ協議会がございますので、よろしくお願ひ致します。例会は紀尾井町 RC との合同例会です。

幹事報告

- 1) 28日の炉辺会の出欠を、宜しくおねがいたします。
- 2) 11/9日に予定されておりました、IMが中止となり、その日は通常例会を開催することになりました。

ガバナー公式訪問 10月5日(月) 紀尾井町 RC との合同例会

10:45～11:15 会長・幹事との打ち合わせ(「AZALEA」控室)

11:15～12:15 クラブ協議会 理事、役員、各委員長 (「AZALEA」)

12:30～13:30 例会 (「鳳凰-東 中の間」)

例会終了後、紀尾井町 RC はクラブ協議会へとなります。麹町は、理事会開催

例会記録

会員総数 40名 出席会員数 28名
ゲスト 1名 その他 0名
ビジター 0名 事務局 2名
海外ビジター 1名 出席率 82.56%

8月31日 Make-up 後の

出席率 86.56%

ニコニコボックス

佐藤会員: 誕生日祝い(9/12)
齊藤会員: 大阪なごみ選手、全米オープン
優勝おめでとう。中継を観戦できず残念。
飯嶋会員: SNSの更新を検討中です。
よいアイデアをお願いします。



次回予告

第11回例会 2020.10.5 (#2285)

会場: 鳳凰-東 中の間
例会ホスト・紹介係 加賀君
受付係 井関君 地引君
会費係 崎山君
司会者 吉田君
ソングリーダー 木寅君

卓話

「ガバナー公式訪問記念講演」

野生司 義光ガバナー(東京小石川RC)

紹介者 須藤会長

検察捜査よもやま話

元検事総長 笠間 治雄氏(9/7卓話 乳井会員紹介)



検事も捜査をしているということはお存じかと思いますが、捜査といっても、捜索・差押から取調まで色々あります。

まず、捜索・差押の話をしてしましよう。それは、ある学校法人理事長による横領事件に関するも

のでした。法人の普通預金口座に入っていた資金が理事長の手で現金化されていることはすでに収集済みの証拠により明らかだったのですが、そのお金の使途、とりわけ使途が物品の購入であるとすると、その保管状況などを明らかにする必要があり、そのための捜索・差押でした。流出した資金ないし購入物品が学校教育のために使用されているようであれば、仮に経理上のルール違反ではあっても横領の成立という面では疑いが生じるからです。そこで、理事長個人の居宅において捜索・差押を実施してみると、そこはゴミ屋敷のようでありながら、床には高価な絵画や骨董、剥製、さらには金塊までもが、整理整頓もされないまま、ところ構わず放置されておりました。捜査員が、ずっしりと重量のある金塊に蹴躓く一幕さえありました。それらの物品が、学校教育に資する目的で購入されたとは到底考えがたい保管状況でありました。

額に汗をしないで獲得した財貨は身につかない、まさに「悪銭身につかず」ということわざを地でいくような状況でした。

次は、実況見分(検証)のお話です。その実況見分は、ある男性が二歳の幼女を殺害した事件に関するものでした。事件は、当該男性の奥さんが自宅で開設している私設託児所で起きました。夜は奥さんが働きに出て、その間、男性が、預かった幼児たちの面倒を見ていたのですが、勤務の疲れもあり、幼児の面倒を見ることに苛立ちを募らせていました。そして、泣き止まない幼女を部屋の板壁に投げつけて殺害したのです。警察は、板壁に破損箇所があることを発見し、かつ、男性の6歳になる息子から、「おとうが、やりよった。女の子の足首を掴んで振り回し、壁に叩きつけよった。」旨の証言を得て満足をし、男性による殺害事件の捜査は完了したものと捉えていた節がありました。しかし、あえて一つの重要な疑問点を挙げるならば、板壁の破損が本当に女兒の頭部等が打ち付けられてできた穴であると客観的に断定できるのかということが重大な問題でした。そこで、検察官は、補充捜査として自ら実況見分をしました。壁の穴は2mほどの高さにできていて、よく見ると女の子の髪の毛が沢山付着しておりました。2メートルもの高さの位置に女兒が頭部を打ち付けることは、通常であればあり得ないことです。検察官は、壁の穴に付着した毛髪と女兒の遺体の毛髪を採取の上、

その同一性について鑑定に付し、同一であるとの結論を得たのです。これで万全のはずでした。

ところが一審裁判所は、壁の穴に付着した毛髪は、何らかの別の事情で付着したとも考えられるなどとして、殺人罪を認定せず、訴訟の当事者の誰もが主張していない、男性が女兒の頭部を拳骨で殴打したとの奇妙な認定の下に傷害致死罪であるとしてしました。検察官が控訴をした結果、高等裁判所は、破棄自判して殺人罪を認定したのです。

捜査官が、犯罪のストーリーを想定するのはよいとしても、それを客観的な証拠によって十分に裏付けておくことの大切さを、改めて実感したのでした。

最後に、取り調べについてです。事件は、贈収賄事件でした。被疑者は、犯罪を犯した疑いのある人ではありますが、捜査官は、相手の立場を考え、その言い分に耳を傾けるのが大事です。信頼関係の構築が大切なのですね。私も、贈賄の被疑者である当該男性の言い分に十分耳を傾け、信頼関係の構築に努めました。事件の起訴後、法廷で、私が当該被疑者から録取した供述調書の任意性が問題となった際、弁護人が、当該供述調書は検察官による恫喝により作成されたもので任意性がない旨の主張をしたのですが、当の供述者本人が弁護人の主張を全否定したのです。極めて希有なことです。

私は、それ以前に、ある事件の被疑者から、「私の言いたいことを聞こうとせず、自分の聞きたいことだけを聞こうとする検察官」という評価を得たことがあり、人の言い分に耳を傾けることの大切さを認識していたことが幸いしたと思います。人と話をする際に、先方の言い分に十分に耳を傾けるということは、捜査の場だけではなく、どんな場面でも大切なことですね。

なお、検察は、平成22年に発覚した大阪地検特捜部による証拠改ざん事件を契機とする検察改革において、「検察の理念」なるものを制定しました。検察職員をして、検察の存在目的を自覚させ、法と証拠と処罰価値に忠実な事件処理を心がけるようにさせるところに、その目的があり、組織の雰囲気を変える効果は、それなりにあったように感じています。民間企業においても、自社の社会的使命ないし存在意義を自覚させる理念を掲げることは、組織構成員の健全な勤労意欲を醸成する上でも大切ではないでしょうか。

東京麹町ロータリークラブ

設立	1968年6月17日	〒102-0093
例会日	月曜日 12:30	千代田区平河町1-3-8
例会場	ホテル・ニューオータニ	平河町プラザ204号
		TEL:03-3263-9220
会長	須藤 仁	FAX:03-3263-9122
幹事	齊藤栄太郎	e-mail office@koujimachi-rc.jp
会報委員長	飯嶋 一晃	URL: www.koujimachi-rc.jp